



センターだより

令和3年6月 第130号

島根県教育センター
https://www.pref.shimane.lg.jp/matsue_ec/

島根県教育センター浜田教育センター
https://www.pref.shimane.lg.jp/education/kyoiku/kikan/hamada_ec/



所長あいさつ

日頃より、島根県教育センター及び浜田教育センターの事業につきまして

ご理解・ご支援いただきありがとうございます。

県教育委員会では、「ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく 心豊かな人づくり」を基本理念に施策の方向性を示し、学校・家庭・地域・行政が連携・協働し、一体となって本県教育を進めるため、令和2年3月「しまね教育魅力化ビジョン」を策定しました。

ビジョンでは、基盤となる教育環境の整備・充実の1つとして、教職員の人材育成と学校マネジメントの強化が述べられています。

教職員の研修は、「人材育成基本方針」とキャリアステージごとに育成すべき姿を示した育成指標をもとに、本県の教職員として求められる資質・能力を高めるため、今日的な課題や社会のニーズを踏まえながら、研修内容や方法の不断の工夫・改善を行います。

また、学校が様々な課題やニーズに応えながら働き方改革を推進するためには、既存のリソースだけで対処するには限界があります。組織として教育活動に取り組む体制を整備し、学校内外との関係で連携と分担により学校マネジメントを実現することが重要です。特に、校内においては外部人材、コーディネーターや事務職員等と協働し組織全体として総合力を発揮することが求められます。そのためには、管理職だけでなく、全ての教職員が学校マネジメントを理解し、それを意識しながら役割と責任を果たす必要があります。今年度も学校マネジメント研修の一層の充実を図って参ります。

島根県教育センター 所長 佐藤 誠
島根県教育センター浜田教育センター長

本教育センターでは、昨年7月以降、感染防止対策を講じて研修を継続実施しております。特に、GIGA スクール構想による一人一台端末を最大限に活かし、今までの実践とICTとを最適に組み合わせ、様々な課題を解決し教育の質の向上につなげていくことが求められています。本教育センターでは学校や関係団体等のニーズに対応した教育の情報化に係る出前講座や要請訪問を行うとともに、高等学校を対象に教科別悉皆研修を行い、教職員の情報活用能力の向上と教育活動への活用を支援します。

また、コロナ禍の研修を通じて、教職員・学校の現状やニーズ、配置、効果、リスクやコスト等を考慮し、在り方を含め研修の見直しを図っています。質疑応答、即興的な対話や共同編集、動画を活用した知識や動作の習得などはリモートでも十分可能です。集合型研修の真のメリットは、受講者の成長に結びつく建設的な対話・協働・実技実習といった創造的な学びや、改善につながる刺激・発想を受講者相互にもたらすことにあります。オンライン、オンデマンドと集合型を適切に組み合わせて生かし、Off-JT研修が教職員の学びに火をつけ、OJTに転移し課題解決や不断の改善につながる「令和の島根型研修」の設計をすすめて参ります。

「島根の教育」を担う教職員や学校・家庭・地域の伴走・支援こそが本教育センターの最大の使命です。今年度も「学び続ける教職員の育成と校内のOJTを支援する教育センター」を基本姿勢に、事業に取り組んで参ります。本教育センターでの各種講座をぜひご活用ください。どうぞよろしくお願いいたします。